

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会  
2020年度定時社員総会 議事録

- 開催日時：2020（令和2）年8月30日（日） 13:30～14:30
- 場所：谷岡学園 梅田サテライトオフィス CURI0-CITY  
（大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪タワーA（南館）16階）
- 社員総数 76名（議決権は、各1個）  
出席社員数 65名（出席9名（内役員6名）、議決権行使書提出者数45、委任状提出者数11（議長10、桂律也1））  
※オブザーバー（協会正会員および学生会員）出席者数1名

出席理事（社員） 桂律也（会長（代表理事））、江原喜人、剣持悟、青木（杉本）昌子、  
中村俊哉（副会長）  
出席監事（社員） 赤澤康史  
出席理事 なし  
書記 深野栄子（協会事務局）  
議決権行使書：46名  
委任状：11（議長10、桂律也1）名  
欠席理事 石濱裕規、植田瑞昌、岡野善記、鈴木太、谷口公友、中村俊哉、村田知之、  
森田千晶、西村颯、水澤二郎（副会長）  
欠席監事 伊藤和幸  
議事録署名人 沖川悦三（神奈川県総合リハビリテーションセンター）  
金井謙介（the Light on Design Project）

4. 審議事項

- |       |                    |             |
|-------|--------------------|-------------|
| 第1号議案 | 2019年度事業報告（案）      | 【資料1】       |
| 第2号議案 | 2019年度決算報告（案）／監査報告 | 【資料2】 【資料3】 |
| 第3号議案 | 2020年度事業計画（案）      | 【資料4】       |
| 第4号議案 | 2020年度収支予算計画（案）    | 【資料5】       |
| 第5号議案 | 代議員選出規則の改定（案）      | 【資料6】       |

5. 社員総会資料

- |     |                       |                 |
|-----|-----------------------|-----------------|
| 資料1 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2019年度事業報告（案）   |
| 資料2 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2019年度決算報告（案）   |
| 資料3 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2019年度監査報告      |
| 資料4 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2020年度事業計画（案）   |
| 資料5 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2020年度収支予算計画（案） |
| 資料6 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 代議員選出規則の改定（案）   |

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

事業統括の中村理事より、本日の社員総会は定款第28条、29条により定数を満たしたので、有効に成立した旨（社員総会規則第2条第1項により、社員総会を招集した2020年8月1日時点での、社員数は76名。総会会場の参加者9名、議決権行使書による参加者45名、有効な委任状による参加者11名、合計65名を告げたのち、桂会長が定款第27条の規定に基づき議長に就任し（定款第28条第4項 議長は、社員として表決に加わることはできない。）、開会の辞を述べた。

定款第31条第2項「議長及び出席した社員の中から選任された2名の議事録署名人は、前項の議事録に署名又は記名押印する。」より、出席の代議員より議事録署名人2名を選出した。

審議は密接に関係する内容の第1号議案と第2号議案、第3号議案と第4号議案は一括説明とし、議案ごとに個別に決議することとした。

## 定款28条第1項

「社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、社員総数の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決するところによる。」

## 同条第2項

「前項の規定にかかわらず、次の決議は、社員総数の半数以上であって、社員総数の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。」

## 定款第29条第1項

「社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法により表決し、又は他の社員を代理人として表決を委任することができる。」

## 同条第2項

「前項の場合における前2条の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。」

## 第1号議案 2019年度事業報告(案)

議長より社員総会資料1に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

●承認64票(出席代議員8票(議長除く)、議決権行使書45票、議長への委任状10票、桂代議員への委任の数1票)、非承認0、棄権0

### ◆質問・意見等(敬称略)

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

### ◆質問(敬称略)

田中芳則：【資料1】3ページ3行目/応募19作品の書類・ビデオ審査

→これまで福祉機器コンテストの結果は機器開発部門、学生部門に分けて掲載していただいていた。今回の資料では様式が異なっていますので変更しないで下さい。昨年度と同様の形式で掲載をお願いします。

また昨年度より応募件数が減っていますが、その状況を福祉機器コンテスト担当理事としてどのようにお考えか、お聞きしたい。

### ■回答：

<資料の形式について>福祉機器コンテスト2019の詳細な報告は協会誌等で会員の皆様に報告済みであり、総会資料の簡略化に努めた結果として形式を改めましたが、ご意見をいただいたので、理事会で再度検討したいと思っております。検討結果につきましては、改めてご回答させていただきます。

<応募件数の減少について>福祉機器コンテストの応募件数は、ご指摘の通り昨年に比べ減少しております。また、過去10年間の応募件数の推移をみると同様の減少は過去にも見られます。今回の減少は学生部門に比べ機器開発部門の応募件数の減少が影響しております。そのため、福祉機器コンテスト2021に向けては、会員や学校、研究機関、福祉機器・補装具メーカーだけでなく、競争的資金により新たに開発を進める新規参入企業等も含め情報発信するなど、準備を進めていきたいと考えております。

### ◆質問(敬称略)

田中芳則：【資料1】3ページ15行目/選考委員会の設置

→福祉機器コンテスト2020の選考委員会は2019年4月1日から設置されましたが、現在、選考委員の扱いはどうなったのか、お聞きしたい。例えば8月30日の定時社員総会までの任期で解任されるのか、また次年度に今の選考委員は引き継がれるのか、などお聞きしたい。

■回答：福祉機器コンテスト2020の選考委員会の設置が2019年4月1日からとなっておりますが、2020年4月1日の誤りです。申し訳ありません。

選考委員の任期は福祉機器コンテスト規則第7条4において、当該コンテストに関する期間と定められております。今回、福祉機器コンテスト2020は中止となったため、中止が決定した時点で選考委員会は解散となっております。福祉機器コンテスト2021の選考委員会については、新たに理事会の承認により組織されます。その際、福祉機器コンテスト2020の選考委員の再任は妨げません。

### ◆質問(敬称略)

田中芳則：【資料1】5ページ10,11行目/JRATにおける当協会の役割の精査を行った。また委員会内でメーリングリストにて情報共有を行った。

→精査されたのですから具体的に「JRATにおける当協会の役割」は公開されませんか。委員会内だけで会員には知らされないのでしょうか。

■回答：委員会での検討をもとに、当協会からは福祉用具の供給、段ボールベッドやトイレなどの避難所に必要な用具、避難所、仮設住宅などの環境整備などの現地対応の他、平時講習会などに協力できるとして、法人 JRAT 加盟の法人理事会挨拶などで JRAT 側に提示しています。JRAT 自体も法人化されたばかりで、体制づくりのほか、発災時、平時の活動についても、これからシステム作りをしていく過程にあり、具体的な参加団体内の役割分担はまだ明確なものになっておりません。JRAT 側の体制を確認しつつ、都度、会員の皆様には提示していきたいと思っています。また、災害対策を協会事業とすべく、現在災害対策委員会で検討を行っていただいております。事業化の過程につきましても、理事会への報告、理事会審議などを経て、会員の皆様に適宜報告してまいります。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】7 ページ目 4, 5 行目 / GAATO 法人化に伴い、RESJA の参加継続と、法人登録料金（分担拠出金）1000 スイスフランの拠出および年会費 500 スイスフランについて検討し、理事会で参加継続が決議された

→RESJA で検討され、参加継続が必要と決議されたことはわかりましたが、合計 1500 スイスフラン（2020 年 8 月 17 日時点で、1 スイスフラン 117.23 円なので 175,845 円）は次年度にどの科目（事業費なのか管理費なのか）で支出されるのか、お聞きしたい。第 3 号議案・資料 4 の 2020 年度事業計画（案）27 ページにも「GAATO への法人化登録料拠出金負担と年会費」とありますので支出予定とわかります。

資料 5 の 2020 年度予算案・部門別支出などで説明をお願いします。

■回答：法人登録料金（分担拠出金）1000 スイスフランの拠出および年会費 500 スイスフランについては、国際関連予算 ¥460,000 に含まれております。

◆意見（敬称略）

田中芳則：【資料2】6 ページ下から 2, 3 行目 タイトルが間違っています。

Assistive Technologies for Ageing Society → Assistive Technologies against Ageing Society

→井上剛伸氏が参加したのは、WHO シンポジウム Assistive Technologies against Ageing Society : Part1 です。確認をお願いします。

■回答：「Assistive Technologies for Ageing Society」ですが、当日 against が for に変更されたとのこと。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

## 第 2 号議案 2019 年度決算報告（案）／監査報告

議長より社員総会資料 2 に基づき、監事より資料 3 に基づきその説明がなされた。

2019 年度より会費を値上げし、ここ数年来続いていた赤字決算がようやく解消された。対面式での理事会開催が 2 回中止となり理事会経費計上額が多少減額となったことも黒字決算の要因である。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

●承認 64 票（出席代議員 8 票（議長除く）、議決権行使書 45 票、議長への委任状 10 票、桂代議員への委任の数 1 票）、非承認 0、棄権 0

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料2】20 ページ / 当期の【事業費】専門委員会経費が 0 になっている。

→2019 年度定時社員総会議事録によると、「JRAT の年会費は 42,000 円で、専門委員会経費に計上している。」となっていて、0 というのは 6 月 30 日時点で年会費を支払っていないという事か、お聞きしたい。あるいは JRAT の会計年度は 4 月からではないのかをお聞きしたい。

■回答：2018 年度より会計士の指導の下、より現実に即した内容が把握できる会計処理を実現できるように改善を行っています。JRAT 参加費については、専門委員会経費として計上してきましたが、災害対策委員会が JRAT に参加しているわけではなく、協会として JRAT に参加していることから、今回の報告から【管理費】の中の会費・参加費として、報告させていただきます。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

### 第3号議案 2020年度事業計画(案)

議長より社員総会資料4に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

- 承認64票(出席代議員8票(議長除く)、議決権行使書45票、議長への委任状10票、桂代議員への委任の数1票)、非承認0、棄権0

#### ◆質問・意見等(敬称略)

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

なし

【会場からの質問・意見等(敬称略)】

なし

### 第4号議案 2020年度収支予算計画(案)

議長より社員総会資料5に基づき説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

- 承認63票(出席代議員8票(議長除く)、議決権行使書44票、議長への委任状10票、桂代議員への委任の数1票)、非承認1、棄権0

#### ◆質問・意見等(敬称略)

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

#### ◆質問(敬称略)

田中芳則：【資料5】32ページ下から2行目/「2020年度収支 79,000円」とあり黒字ということでしょうか。なお資料1のところで質問した「GAATOへの法人化登録料拠出金負担と年会費」の1500フランを支払っても黒字ということでしょうか。さらに2021年度から年会費500フラン(2020年8月17日時点で、1スイスフラン117.23円なので58,615円)を支払う必要があり、大丈夫でしょうか。今後、収支が赤字になりませんか。説明をお願いします。

■回答：GAATOの法人化拠出金は今年度のみで、年会費は法人化以前の2017年からドル建てで毎年度予算計上してきました。それがスイスフラン建てに変わるだけで事実上増えるわけではないので、赤字になることはありません。会費の値上げと、理事会、委員会のWeb会議の採用によって、2020年度は黒字予算を組むことができました。会員の減少で予算も減少しているおり、会員増については是非ご協力をお願いしたいと思います。今後とも、事業拡大を図りつつ、収入増と経費削減に努めてまいります。

【会場からの質問・意見等(敬称略)】

なし

### 第5号議案 代議員選出規則の改定(案)

議長より社員総会資料6に基づき説明がなされた。

代議員選挙並びに役員候補者選挙において「電子投票システム」の導入を予定しており、システムの導入をするための改定である。システムの導入により、選挙管理委員会の業務量の軽減、選挙運営予算の削減、選挙集計結果・会員情報管理等における信頼性の向上など、多くの改善が期待できる。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

- 承認64票(出席代議員8票(議長除く)、議決権行使書45票、議長への委任状10票、桂代議員への委任の数1票)、非承認0、棄権0

#### ◆質問・意見等(敬称略)

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

なし

【会場からの質問・意見等(敬称略)】

なし

## その他 議決権行使書・委任状にていただいた協会に対するご意見・ご連絡事項について

### 【事前に提出していただいた、ご意見・ご質問に対する回答】

#### ◆意見（敬称略）

田中芳則：全体を通しての意見

→昨年度の定時社員総会の場でも発言しましたが、資料を読ませていただき、意見などを出すのにかなりの時間を要します。理事の方々には誤りのない資料をご提示いただくよう、さらなる努力をお願いします。

#### ◆意見（敬称略）

金井謙介： covid-19 でイレギュラーな中、協会運営にご尽力いただきありがとうございます。またおつかれ様です。

#### ◆意見（敬称略）

繁成剛：会員数の減少に少なからず驚いています。今年のカンファレンスが延期になったことも原因かと思われませんが、監事をご指摘されているように、新入会員の積極的な勧誘を様々な機会に実施すること、リハ関係、教育関係、当事者などから見て、協会の活動内が分かりやすく、情報交換や交流がしやすいという印象をもてるホームページのデザインや各事業の展開を考えていただければ幸いです。

■回答：会員数の減少につきましては、「会費値上げ」や「カンファレンスの延期」にかかわらず、緩やかながらも減少が続いています。理事会としても、以前より会員増のための検討を種々行っているところですが、成果が出ていない状況です。ホームページの刷新も Web 管理委員会等で継続して実施しているところですが、情報バリアフリーと視覚的デザインとの併存を達成できてはいないのが現状です。

ご指摘いただいた、当協会の活動に関連する多くの方に、協会に参加してみたいと思っていただけるような、「わかりやすく、情報交換や交流がしやすいという印象をもてるホームページ」を念頭に、今後も検討を続けてまいりたいと思います。また、Web セミナーなどの「新たな企画検討」、地域ごと・分野ごとの活動の活性化のための、「支部・SIG 活動の活性化」、協会活動の公開も兼ねた「協会誌掲載論文の J-Stage での公開」などの作業も、継続して実施していく予定です。今後とも、協会活動にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### ◆意見・質問（敬称略）

橋本泰典： 2019 年度活動報告にて、中国・四国支部の LINE で事業の打ち合わせがあったようですが、何も存じておりません。2020 年度活動計画にも岡山でシンポジウムを検討されているようですが、存じておりません。私は岡山市に在住しておりますが、ご連絡いただいた事は在りません。活動については会員には周知されないのでしょうか？

■回答： 2017 年 1 月より全国に支部を設置完了し、各支部長に支部の運営をお願いしています。現在、各支部におきまして体制を整えている最中でありまして、支部会員専用の ML が整備・活用されていない支部がございます。中国・四国支部におきましては正式な活動を 2019 年 4 月頃から数名で始めたばかりです。中国・四国でのネットワーク構築を目指していますので、今しばらくお待ちいただくか、中国・四国支部連絡先まで一度ご連絡ください。

なお、支部のイベント情報等は、協会誌の支部インフォメーション、協会 Web サイト、Facebook、協会メーリングリストで配信をおこなっています。協会メーリングリストは希望する方に登録していただき、配信をしております。ご登録いただけると幸いです。

したがいまして、総会の資料に関しましては、LINE 等での事業の打ち合わせは役員内で行っていた内容となります。誤解を招きましたことをお詫びいたしますとともに、資料の一部（「役員間にて」を追記）修正させていただきます。

## ◇中国・四国支部

### 1. 概要

支部圏域が広く、ミーティングを持つことそのものが厳しく、LINE などを用いて、種々、事業の打ち合わせを図ってきた。

（修正） ↓

支部圏域が広く、ミーティングを持つことそのものが厳しく、役員間にて LINE などを用いて、種々、事業の打ち合わせを図ってきた。

今後に関しまして、会員の少ない地域ではどうしても支部のエリアが広がっており、活動費も限られることから、思うように活動できていない支部がある事も事実です。また、支部役員や支部事務局と、一般の支部会員とのコミュニケーションが十分とりづらく、支部の活動を企画段階からお知らせして運営していく事が難しい部分もあります。当協会としては、支部の活動の活性化を目的に、2019 年度は第 34 回リハ工学カンファレンスにおいて、支部セッションを実施し、支部会員・役員・事務局とのコミュニケーションの場をつくらせていただきました。より支部が活動しやすいように、支部内規・支部活動費のあり方等も、各支部役員と引き続き検討していく所存です。支部会員の皆様の積極的な参画が行えますよう、体制を整えてまいりますので、今後ともご協力いただけると幸いです。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2020 年度定時社員総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(14 時 30 分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名・押印する。

2020 年 8 月 30 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2020 年度定時社員総会

議 長 桂 律也 ㊟

議事録署名人 沖川 悦三 ㊟

議事録署名人 金井 謙介 ㊟